## **違法伐採問題に関する認識度アンケート調査　ご協力のお願い**

【アンケート実施の背景】

地球規模の環境問題である森林減少・劣化の進行を食い止めるには、持続可能な森林経営を促進することが重要ですが、持続可能な森林経営を阻害する要因の一つとして違法伐採問題が指摘され、その対策については木材生産国と消費国双方が取り組むことが重要です。

このような中、自民党と民進党との共同提案による議員立法のもと、2016年5月に「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」（クリーンウッド法）が成立し、同月のG7伊勢志摩サミットにおいて、日本政府は違法伐採対策に取り組むことを表明しました。クリーンウッド法では、合法伐採木材の利用対象をすべての木材関連業者に広げ、民間企業の取り組みを通じ一般消費者にも合法伐採木材の利用が促進されることが期待されています。

【アンケートのねらい】

早稲田大学 W-BRIDGEプロジェクト「『フェアウッド』の普及を通した違法伐採対策への意識向上の促進」では、民間企業や一般消費者に対して違法伐採対策や木材調達リスク管理（デューデリジェンス）の必要性など、意識の向上を図るとともに、積極的に違法木材排除に取り組もうとする企業に対してその取り組みの支援を行うことを目的としています。プロジェクトの一環として、クリーンウッド法施行前の現状について把握するため、個人の方を対象に「違法伐採問題に関する認識度アンケート調査」を行うこととなりました。皆さまにおかれましては、本プロジェクトの趣旨をご理解いただき、アンケートの回答にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

【アンケートの回答方法】

アンケートはウェブ回答フォームをご利用いただくことを想定しており、設問数は22問、おおよそ10分程度で完了します。パソコンだけではなく、スマートフォン、インターネットに繋がったタブレット、携帯電話からでもご回答いただけます。また、紙媒体でご回答いただく場合は、下記問合せ先までご一報いただきますようお願い申し上げます（WORDファイルをご利用いただくことができます）。

違法伐採問題認識度アンケート　ウェブ回答フォームは↓　→

https://business.form-mailer.jp/fms/0c157cbe62667

提出締め切り：2016年12月1日（木）

|  |
| --- |
| ■アンケート実施主体■  早稲田大学環境総合研究センターW-BRIDGEプロジェクト  「『フェアウッド』の普及を通した違法伐採対策への意識向上の促進」  ■アンケート問合せ先■  九州大学熱帯農学研究センター（担当：百村（ひゃくむら））  Eメール：wbridge.forest@gmail.com、TEL：092-642-3074  フェアウッド・パートナーズ  Eメール：contact@fairwood.jp  国際環境NGO FoE Japan（担当：三柴）TEL：03-6909-5983  地球・人間環境フォーラム（担当：坂本）TEL：03-5825-9735 |

※結果につきましては、統計的に整理をして、その回答の傾向等についてとりまとめ公表することを予定していますが、個別の組織、個人等が特定される情報は公表致しません。また、ご記入いただいた個人情報は、アンケートへのご回答に関する問い合わせのために使用いたします。またその個人情報は適切に管理いたします。

**問1．あなたは「環境問題」に、どの程度関心をお持ちですか？**

1. 非常に関心をもっており、日常生活において優先的に考えている
2. 関心を持っており、日常生活において気をつけている
3. 関心はあるが、自分自身に関係する問題とは考えていない
4. あまり関心はなく、テレビや新聞で関連記事を目にする程度である
5. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問2．あなたは「環境問題」について、どのようなことに関心がありますか？（複数回答可）**

1. 地球温暖化
2. 生物多様性
3. 大気汚染
4. 森林保全
5. 違法伐採
6. 湖沼・河川・海域の水質汚濁
7. 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進
8. 地盤沈下、地下水汚染、土壌汚染、
9. 環境教育の推進
10. 身近な地域の自然の減少
11. その他  
    （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問3．あなたは、日本の環境行政は世界的に進んでいると思いますか？**

1. 世界トップクラス
2. 他の先進国並み
3. 先進国に追随するレベル
4. 遅れ気味
5. 全く遅れている
6. わからない

**問4．あなたは、環境をよりよくするため、どのような対策が最も効果的だと思いますか？（複数回答可）**

1. 法的な規制
2. 環境税
3. 環境教育・普及
4. メディアから世論に訴える
5. その他  
   （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
6. わからない

**問5．あなたは、環境問題に関する情報を得ることができていますか？**

1. 充分得られている
2. 必要に応じて情報は入手できる
3. 入手の方法がわからない
4. 欲しいと思わない
5. その他  
   （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
6. わからない

**問6．世界の森林は熱帯林を中心に減少を続けており、毎年約330万ha（日本の国土の1割弱）が減少しています（国連食糧農業機関（FAO）2015世界森林資源評価より）。あなたは、森林減少の原因をどのようなものだと思われますか？（複数回答可）**

1. 農地への転用
2. 薪炭材の採取
3. 過度な焼畑農業
4. 無計画な商業伐採
5. 違法伐採
6. 森林火災
7. 台風などの自然災害
8. その他  
   （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問7．木材生産国の法律・条例など法制度や国際条約に違反して木材を伐採したり、取引したりすることを「違法伐採」と言いますが、あなたはこのことを、**

1. よく知っている
2. 知っている
3. 少しは知っている
4. 聞いたことがない
5. その他  
   （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問8．問7で「1.よく知っている」、「2.知っている」、「3.少しは知っている」と回答した方にお伺いします。「違法伐採」のことをどこでお聞きになりましたか？（複数回答可）**

1. 業務上の関係者、業務上の友人・知人
2. 業務外の友人・知人
3. 学校（大学等）の友人・教員
4. 学校（大学等）外の友人・知人
5. 家族・親戚
6. テレビ・新聞・ラジオなどのマスコミ
7. 森林保全に関連した参加したセミナー等
8. インターネット・SNS等
9. その他  
   （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問9．問8で「7．森林保全に関連したセミナー等」と回答された方、どの機会でお聞きになられましたか？**

1. ワイス･ワイス主催のセミナー等
2. フェアウッド・パートナーズ（FoE Japan/地球・人間環境フォーラム）主催のセミナー等
3. NGO（フェアウッド・パートナーズ等を除く）主催のセミナー等
4. 森林総合研究所・各大学・研究機関主催のセミナー等
5. 林野庁・環境省等の主催セミナー等
6. 覚えていない
7. その他  
   （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問10．あなたは、違法伐採された木材が日本に輸入・流通していると思いますか？**

1. 思う
2. 思わない
3. わからない
4. その他  
   （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問11．近年、先進国各国で違法伐採対策がとられたり、主要国サミットの議題として取り上げられるなど国際問題となってきていますが、あなたはどのように考えますか？（複数回答可）**

1. 外国の森林のことなので、心配する必要はない
2. 違法伐採問題は木材生産国の問題なので、まずはその国で必要な措置を講じるべきである
3. 日本での木材輸入に大きな影響が出るようになれば、心配する
4. 地球環境にかかわる問題なので、違法伐採を防止させるために国際間の協力が必要である
5. 日本にとっても違法伐採は重要な問題であるので、日本も積極的に協力すべきである
6. わからない
7. その他  
   （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問12．違法伐採問題の解決には、木材消費国の側にも責任があるという側面があります。あなたは、日本はどのような対策をとるべきだと思いますか？（複数回答可）**

1. 違法伐採材の取引を法的に禁止する
2. 森林認証やラベリングの制度を利用して、合法な木材のみを輸入するようにする
3. 木材関連業界が違法伐採材の取扱いを自粛すると宣言する
4. 違法伐採材の貿易に関するモニターリングを強化し、取引抑制の国際的ルールを作る
5. 木材生産国と協力して違法伐採の撲滅に協力する
6. 日本の責任ではないので、とくに何もする必要はない
7. わからない
8. その他  
   （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問13．今年5月、国会で「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」（クリーンウッド法）が成立しました。あなたはこのことを、**

1. 聞いたことがあり、内容も多少知っている
2. 名前を聞いたことがある
3. 聞いたことがない

**問14．問13.で「1.聞いたことがあり、内容も多少知っている」、「2.名前を聞いたことがある」とご回答された方に伺います。クリーンウッド法による違法伐採対策をどのようにお考えですか。**

1. 十分期待している
2. まあ期待している
3. あまり期待していない
4. 難しいと考える
5. わからない
6. その他  
   （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問15. 問14で回答された理由は何ですか？（複数回答可）**

1. 法制度がしっかりしている
2. 法制度がまあしっかりしている
3. 法制度に弱点があると考える
4. 法制度を知らないので、判断できない
5. 木材生産国に問題がある
6. その他  
   （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問16．あなたのお仕事の業態は？**

1. 商社（木材・木材製品関係）
2. （国内）森林所有者・素材生産業者・森林組合等
3. 木材・建材問屋
4. 建材メーカー
5. 住宅メーカー
6. 家具メーカー
7. 小売・流通業（家具・インテリア、DIY／ホームセンター等木材・木材製品関係）
8. 土木・建設
9. 民間企業（木材・木材製品関係以外）
10. 公的機関（国、県、市、町、村など）
11. 研究者（大学・研究機関）
12. 大学生・大学院生・専門学校生
13. NGO・NPO・団体
14. 主婦・主夫
15. 無職
16. その他  
    （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問17．問16で1から8と回答された方にお伺いします。あなたの会社が取り扱っている木材・木材製品のうち、外国産の比率はどのくらいありますか？**

1. 20％以下
2. 21～40％
3. 41～60％
4. 61～80％
5. 81％以上
6. その他  
   （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
7. わからない

**問18．あなたの会社が外国産の木材・木材製品を取り扱っておられる場合、違法伐採について何らかの対策をとられていますか？**

1. 対策をとっている
2. 対策をとっていない
3. わからない

**問19．問18.で「1.対策をとっている」と回答された方にお伺いします。あなたの会社では、どのような対策をとられていますか？**

1. 森林認証材を使っている
2. 林野庁ガイドラインに基づく団体認定を得て事業者が行う証明方法で合法性を担保している
3. 林野庁ガイドラインに基づく個別企業等の独自の取組による証明方法で合法性を担保している
4. 調達方針等を制定・公表し、それに基づいて木材・木材製品の購入先等に確認をしている
5. 調達方針等を制定していないが、木材・木材製品の購入先等に確認をしている
6. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問20．会社にお勤めの場合、所属部署はどこですか。**

1. 営業
2. 調達
3. 技術・研究・開発
4. 広報
5. CSR・環境
6. その他  
   （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問21．会社にお勤めの場合、会社の規模をお教えください。**

1. 従業員1-5人
2. 従業員5-10人
3. 従業員11-50人
4. 従業員50-100人
5. 従業員100-500人
6. 従業員500-2,000人
7. 従業員2,000人以上
8. 従業員10,000人以上

**問22．あなたがお住まいの都道府県を教えてください。**

1. 日本国内（都道府県名：　　　　　　　　　　）
2. 海外

**アンケートは以上です。ご協力どうもありがとうございました。**

**差し支えなければ、氏名、会社（学校）名、連絡先をお書きください（回答は任意です）。**

氏名：

会社（学校）名：

電子メール：